平成２８年度第１回函館市地球温暖化対策地域推進協議会　会議概要

１　日　時　平成２８年４月２６日（火）午後１時３０分～２時４０分
２　場　所　函館市環境部４階大会議室
３　出席者　委員（１９名）
松崎静江委員，佐藤不二子委員，陳有崎委員，山本正子委員，木村周治委員，
齋藤利仁委員，川内隆靖委員，砂原壮吉委員，辻廣孝司委員，山崎治央委員，
大滝隆一委員，松原仁委員，伊藤聡委員，中俣友子委員，綿貫豊委員，
筑土清彦委員，池田誠委員，清水愼一委員，對馬公彦委員
事務局（４名）
事務局長　細越清朗（環境部環境総務課長）
事務局員　池田直樹（同課主査），佐藤弘康（同課主任主事），高橋沙耶（同課主事）
４　傍聴者　なし（随行者１名）
５　発言要旨
《１　開会》
・会長挨拶
（松原会長）
会長を務めます未来大学の松原でございます。
初めての方もいらっしゃると思いますので，この会の趣旨について，私の考えるところを述べさせていただきたいと思います。
地球温暖化は，皆さん色々なところでお聞きになっていると思いますが，人類にとって大きな問題です。日本でも温暖化が進んでいて，函館，北海道にとって気温が少し高くなる事は，必ずしも悪いことばかりではないですが，首都圏，本州では６月から８月，９月位までは３５度にもなり，人が活動するのが難しい状況になっています。
それに伴って，今まで日本には無かった病気が，日本でも流行るようになったり，ゲリラ豪雨という昔は熱帯，亜熱帯でスコールと言われていたものが，温帯であるはずの日本でもしばしば見られるようになったりしています。
函館で目に見える影響としては，水温の変化などにより捕れる魚が変ってきたなどの産業への影響を受けています。
国も温暖化対策はしているわけですが，地味ではありますが，住民一人ひとりが，温暖化について考えて行く必要があり，色々な組織の方々に集まっていただいて，どうすれば良いかということを考えるのが，この会の趣旨です。
お忙しい中かと思いますが，こういった趣旨の会ですので，お付き合いをいただければと思います。
今日はよろしくお願いいたします。

・事務局から委員および事務局の紹介

《２　議題》
（１）平成２７年度事業報告について
・事務局から平成２７年度事業報告について，資料１および資料２に基づき説明
（松原会長）
平成２７年度事業報告について，質問やコメントがありましたらよろしくお願いします。
基本的には，普及というか温暖化対策は大事ですよということを，いろんな形でお金がほとんど掛からない形で進めているということです。

ノーマイカーデーについては，協議会の下に部会を設けて，一部の委員の方にはそちらの部会のメンバーなっていただております。

ご存じのとおり，いつも車で動いている方が車を使わないということは不便なので，そう簡単には参加人数は増えないのですが，それでも少しずつは増えてきておりまして，１年に１回マイカーの利用について，見つめ直していただく機会になっています。９月に実施しているのは，暑からず寒からずで歩いたり自転車で移動するには比較的良い季節だろうということです。

また，主たる目的は，協議会で実施していますので，温暖化について考えていただくということですが，普段車で移動される方が，たまには自転車や徒歩で移動されると身体に良い，健康意識の高まりということをアピールしようということ，また，公共交通が必ずしも住んでいる所によっては便利ではないので，車以外での移動を試みた場合に，どうような状況かを体験し，理解をしていただくということもあります。

（綿貫委員）

ノーマイカーデーについて，普及啓発としてはとても良い試みだと思いますが，自分はだんだん年を取ってくると，自転車とか徒歩はつらいという気がしますので，そうなると公共交通機関が使えるかと思いますが，結果を見ると市電で移動するという人の割合が非常に低くて，市電はエネルギーの効率が非常に良いと思いますが，あまり市電に乗る人がいないということはどうしてか，何か分析などはしていますか。

（事務局）

細かい分析まではしていませんが，一つ属性としてアンケートや実施報告に漏れているとすれば，居住地域ということがおそらく影響しています。市電は限られた範囲で運行しているため，そちらの利用が可能な居住者であれば利用が増えることが見込まれますが，これまでの結果でも同様の結果で推移しています。

（綿貫委員）

なかなか人が住んでいる所まで市電を延ばすということは難しいと思いますが，市電の近くに人が住みやすくなるような工夫や方法はあるんでしょうか。

便利な所に住んだ方が良いと思いますが，あまり市電の回りには人が住んでいないという状況でしょうか。

（松原会長）

私の理解では，市電やバスの便利な所に住んでいる方は，そもそも市電やバスで移動されている方が多いため，そういう方はノーマイカーデーに参加されないという状況があります。普段からマイカー利用を控えている方もお断りはしていないですが，参加される方の多くは，普段から車を使われるという背景があり，市電やバスの駅まで遠く不便なため，徒歩や自転車を代替の移動手段として選択される方が多くなっていると思います。

（綿貫委員）

わかりました。

（松原会長）

市電やバスの料金が割引きなるなどの参加特典も付けてはいますが，それほど移動手段として選択されず，自転車や徒歩で移動されている方が多いという結果になっています。

（松崎委員）

電車･バスの乗客に関しまして，私は日吉町３丁目に昭和３７年に移転しましたが，その時は皆さんお若い方ばかりでしたが，町会関係者も段々と高齢の方が多くなり，高齢化になるとバスに乗ること自体も少なくなってきます。

また，今は病院などで送迎の車を出している所が多いため，バスに乗る方がとても

少なくなっています。そういった状況もあり，１時間に何本かあったものも減便がされたり，遅くまで走行していたバスも無くなりました。

そのように感じている中ですが，私たちがバスに乗りましょうといった運動を行うことはゼロに近いと思います。けれども高齢化ということも考えて，これからの運営を考えていただくということは，必要ではないかと思っています。

それともう一つお聞きしたいのですが，地球温暖化対策に関わる組織について，道南では函館だけが取り組んでいるんですか。

（事務局）

温暖化の協議会という形での取組みに関しては，函館のみです。基本的には法に基づく協議会になっておりまして，組織した場合は環境省に登録簿があり，そちらに登録しているかどうかが一つの基準になります。

（松崎委員）

私は，町連の環境部長という役をお受けしていますが，最初から町連の環境部に所属していたため，環境一辺倒で活動してきました。昨年は，町会連合会の苫小牧から下の道南ブロックの研修会議が江差で行われ，各地域から２００名近くが集まり，私も参加してきました。研修会の中で地球温暖化に関して，各地域の町会がどのように取り組んでいますかということを質問しましたところ，一瞬無言の空気となりました。その時期には，上ノ国の方でダニが発生していてそれどころではないというお声がありました。それで，何処の地域，市町村で温暖化に関して取り組んでいるかお聞きしました。

（松原会長）

ありがとうございます。最初の交通については函館にとってかなり深刻で重要な問題だと思います。私の認識ではバス会社と市が連携して五稜郭などをハブにした効率的なバス路線について議論されており，函館市の企画部から案も出ていて，数年の間には，たぶん良い方向に変化すると期待しています。

こちらの協議会は，直接交通そのものは扱っていませんが，かなり関係が深いのでそういった動きとも連携をして進めて行きたいと思っています。

（山本委員）

路線のお話しですが，やはり人間は贅沢と申しましょうか，変えられた地域の方はとても不便だとなり，また今まで無かったところに来るととても便利だとなりますので，これはなかなか悩みの種だと思いますが，今後ともよろしくお願いしたいと思います。

私の質問は，資料１の２の（２）についてですが，地球温暖化に関する各種事業への情報提供とあり，平成２７年４月から平成２８年３月まで毎週火曜日１３時４５分から５５分までの１０分間，ＦＭいるかで皆さんお話ししていただいたと思いますが，単純に計算すると月４回，年間では４０回以上になり，平成２８年度の事業の中にも入っていますが，過去どういった方々がどういうお話しをされたか，少しお聞かせいただきたい。

（事務局）

過去にこちらのコーナーでお話しをいただいたのは，当初，平成２３年度に協議会が発足しておりますが，その当時の会長であった石原千鶴さん，北海道地球温暖化防止活動推進員をされていた方ですが，半年間３ヵ月サイクルで，事務局と交代で出演をしておりました。その後には，現在，この協議会から退会されましたが，ＮＰＯ法人ナチュラスの代表であった赤石哲明さんが，およそ半年出演をされていたことがあります。

（山本委員）

ありがとうございます。毎週出演者を変るのでは無く，同じ方がお話しされた方が，より皆さんへ効果的に伝わっていくと思いますが，一つお願いしたいのが，真面目にお話ししてもつまらないと思うので，お役所的なお話しではなくて，もう少し皆さんに受け止められる様な，やわらかいお話しの内容を考えていただけたらと思っています。

（松崎委員）

パネル展の事ですが，私も渡島総合振興局まで行きましたが，何かアピールが足りなく，もったいないと思いました。あれだけのポスターを貼り，資料を用意しているので，こういうことが地球温暖化に繋がっていき，日本は５番目に温室効果ガスを多く出している国なんですよといったことをもう少しアピールする必要があります。

皆さんに，もっと分かっていただけるようなパネル展にしていく必要性を感じました。

（事務局）

ご指摘のとおりであると思います。パネル展の内容については適宜見直しており，お話しの中にありました日本が世界の中で排出量が５位であるといったパネルも，当然展示をしながら実施をしておりますが，例えばパネル展を開催しますということで，新聞報道等に載る場合もあるのですが，なかなかそれだけでは足を運んでいただけないということが現実でありまして，今後，更に工夫ができないか，あるいはパネルの展示内容の見直しも含めて，検討して参りたいと思います。

（松原会長）

みんな内心大事なことだとは思いながらも，日常の生活にすぐに影響を受けている方が，そんなにはいないこともあり，難しいところもあると思いますが，ぜひ委員の方々も，予算が少ないため，お金が掛からない形で良いアイデアがありましたら，御提案をよろしくお願いいたします。

（２）平成２８年度事業計画（案）について

・事務局から平成２８年度事業計画（案）について，資料３および資料４に基づき説明

（松原会長）

平成２８年度事業計画（案）ついて，質問，御意見がありましたらお願いいたします。

（松原会長）

光の街はこだてあかりプロジェクト構想検討部会について補足しますと，何年か前に設置して，外部の資金も得て，函館はご存じのとおり夜景が名物で夜景を保つということがありますが，一方で環境問題を考えるとＬＥＤが従来の光よりも良いということになっていますが，ＬＥＤにするとあかりが変るという懸念があって，それを旧相馬邸で２色のＬＥＤで実際にライトアップを行い，間近で見た場合と函館山の上から見た場合の見え方を検証しました。結論から言うと，見栄えとしては大丈夫ということでありましたが，そういった部会を以前設置しておりまして，今は解散していますが，函館にとって，夜景はこれからも重要な観光資源ですので，今後，外部資金などを得られるチャンスがあれば，復活させたいとのことから継続していきたいということが，５その他の（１）の事業です。

イカ釣舟もＬＥＤ化しているんですが，漁り火の色がちょっと変ったという意見があったりするようです。漁り火は観光資源ではありますが，一義的にはコストを掛けずにイカが沢山釣れるということがありますので，見栄えでライトを変えるということは難しいと思いますが，そういった話しもあります。

（綿貫委員）

実行計画の概要版に関する質問ですが，第４章の７ページのグラフの見方で基準年はどれをとったんでしょうか。

（事務局）

基準年につきましては，２つの基準があり，二酸化炭素，メタン，一酸化二窒素は１９９０年，ハイドロフルオロカーボン，パーフルオロカーボン，六フッ化硫黄については，１９９５年となっておりまして，これは国が算定にあたって京都議定書の時代にそのように定めたからとなっています。

（綿貫委員）

わかりました。それでグラフの青い方のバーについてですが，２００７年度は実測値で，２０１２年度は推定値かと思いますが，青い方のバーの２０１２年，２０２０年，２０５０年はどのように設定したものですか。

（事務局）

２０１２年，２０２０年，２０５０年については，人口の推計などを基に，経済活動はこのまま同様に推移していったものとし，算定の方法についても，およそ国のマニュアルで示されているとおり算定していった推計値となっています。

（綿貫委員）

残念なことではありますが，函館市は人口が減っているので，それに応じて，これ位は減っていくだろうということで，２０１２年は－１１．７％になっているので，国の目標よりは達成されているが，更に削減をするために－１５％を目標にしているといことでしょうか。

（事務局）

そのとおりです。

（綿貫委員）

そうすると，２０１２年度の実測値が出てきた時に，赤い方のバーが達成出来たかが，もうじき分かるということですか。

（事務局）

２０１２年度の実績については，確報値ではなく，速報値という形ではありますが，昨年，平成２７年度版の環境白書の方で公表いたしました。

結論から申し上げますと，短期目標を達成出来ない状況となっております。ただし，その理由としましては，主に原子力発電所の停止による電力の排出係数の悪化が原因であり，温室効果ガス排出量は，電気の使用量に排出係数を掛け算して算定するわけですが，この排出係数が悪かったということです。排出係数が悪化しなかった場合について，仮の算定を行いますと，目標は達成されていただろうという計算結果になっています。

（綿貫委員）

函館市自体は原発が無いですが，そのように悪化した排出係数を掛けたことで達成できなかったが，元のままであれば－１５％達成できたということですね。原発については，ここで議論するつもりはないですが，状況は分かりました。

（松原会長）

２０１２年は，大震災の直後なので，微妙な時期に算定しているということですが，日本中が，原子力を全部ストップしていた時期なので，電気の排出係数が高くなり，二酸化炭素の排出量が多くなるという影響を受けたため，厳しかったということですね。

基本的には，平成２８年度の事業は，前年度実施してきたことを継続するということでありますが，先ほど事務局からもありましたように，この事業だけをやると決めた訳ではなくて，何か良いアイデアがあれば，適宜できる範囲内で追加することも可

能ですので，委員の皆様にはお帰りになって，御本人や周りで何かありましたら，事務局にお伝えいただければ，検討したいと思います。

他に御意見などが無いようでしたら，今日は所用で欠席ですが，高橋部会長のもとで，今年もノーマイカーデーを実施するために，市民ノーマイカーデー事業検討部会については，５月２６日で期限が切れた後も継続して設置するといくことも含めまして，事業計画（案）については，御承認いただいたということでよろしいでしょうか。

（全委員）

異議無し

（松原会長）

異議が無いようですので，平成２８年度事業計画（案）は承認されました。

（３）その他について

（松原会長）

最後にその他について，委員の皆さんから何かありますか。

（全委員）

議題，意見等なし

（松原会長）

事務局から何かありますか。

（事務局）

１点目は報告事項があります。

・事務局から構成団体に関する意見書集約結果について，資料５に基づき説明

２点目は連絡事項になります。

事業計画を御承認いただきましたので，平成２８年度の活動につきましては，今後も皆様から様々な御意見をいただき，その意見に充分に配慮しながら進めて行きますので，ぜひ御協力をよろしくお願いいたします。

特に会長からもお話しいただきましたが，市民ノーマイカーデーについては，近年，協議会事業の柱となっておりますので，御協力をよろしくお願いいたします。

また，繰り返しになりますが，委員の皆様からの新たな事業提案，アイデアなどございましたら，随時受付をしていますので，ぜひ事務局まで御連絡をお願いいたします。

（松原会長）

それでは，今日の議事は全て終了いたしました。皆様御忙しい中お集まりいただきありがとうございました。これで今日の協議会を閉会いたします。

《３　閉会》